

多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会

<研究主題>

運動の楽しさを味わい、自ら課題を解決しながら動きを身に付ける体づくり運動の学習

<研究の仮説>

4年間の課題解決の流れを明かにし、授業ヒントシートやよい動き表を手掛かりに指導と支援を行えば、児童は運動の楽しさを味わい、自ら課題を解決しながら動きを身に付けることができるだろう。

1 研究内容

(1) 「技能」「態度」「思考・判断」が三位一体であることを踏まえた「思考・判断」の指導と評価

① 課題解決的な単元計画

- 多様な動きをつくる運動(遊び)における4年間の学習の流れの提示
- 一単位時間の課題解決の流れと、学習内容を身に付けることができる単元計画の作成
- 「技能」「態度」「思考・判断」が互いに三位一体であることを踏まえた、指導内容と手だての具現化

② 学習活動に即した評価

- 重点化した評価の考え方を基にした授業づくり
- 授業ヒントシートやよい動き表の作成(指導の質を高め、児童の全体の傾向の把握のため)
- 観点ごとの具体的な姿と支援例の提示

(2) 小学校6年間及び幼稚園からの接続・中学校との系統性

- 魅力ある運動遊びの提示(幼稚園等で経験した歌遊びを授業に導入)
- 多様な動きをつくる運動(遊び)と体力を高める運動のつながりを検討

2 今年度の研究の成果と課題

<成果>

- 4年間を見通した課題解決的な学習の流れ(「知る」→「広げる」→「増やす」→「高める」)は、児童が楽しみながら学習内容を身に付ける上で有効であった。
- 「やってみる→めあてをもつ→取り組む→振り返る」という一単位時間の流れにより、児童は試行錯誤しながら運動に夢中になった。
- 本年度に開発した授業ヒントシートは、教師が児童の学習状況を把握すること、動きをバランスよく引き出すことに有効であった。

<課題>

- 「よい動きを引き出す時間」において、教師が、児童のよい動きを共有したり価値付けたりするための支援の仕方を一般化する。
- 授業中に変わる児童一人一人のめあてを、教師がどのように把握したらよいか、より効率的な把握の仕方を検討する。
- よい動き表に示した動きを精選し、活用方法をより充実させる。

3 研究のまとめ(3年間)

- 第1学年から第4学年までの4年間を見通した課題解決的な学習の流れの有効性
- 中学年における「基本的な動きを組み合わせる運動」の取り扱い方についての検討(場、用具、楽しみ方、提示の仕方などの検討、実践)
- 一般化を図るための資料作成(運動例集、言葉掛け動き例集、授業ヒントシート、歌遊び等の作成)
- 児童一人一人のめあての効果的な把握

4 夏季合同研究会の提案から実証授業、多摩地区発表等を踏まえて改善した単元計画

(1) 2年間の単元計画例

第3学年			第4学年		
1学期[6]	2学期[8]	3学期[4]	1学期[6]	2学期[8]	3学期[4]
<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし(2) ・体を移動する運動(4) ・用具を操作する運動<竹馬・一輪車><Gボール><長なわ> 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を操作する運動<ボール> ・動きを組み合わせる運動(4)<ボール+移動> ・用具を操作する運動<輪> ・動きを組み合わせる運動(4)<バランス+移動><輪+移動> 	<ul style="list-style-type: none"> ・力試しの運動(4) ・用具を操作する運動<短なわ> ・動きを組み合わせる運動<短なわ+移動> 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし(2) ・体を移動する運動(4) ・用具を操作する運動<竹馬・一輪車><Gボール><長なわ> 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きを組み合わせる運動(4)<バランス+移動><輪+移動> 動きを組み合わせる運動(4)<竹馬・一輪車><Gボール><バランス+移動><短なわ+移動> 	<ul style="list-style-type: none"> ・力試しの運動(4) ・動きを組み合わせる運動<ボール+移動>

(2) 第4学年の単元計画例(短なわ)

時	1	2	3	4	
主なねらい	動きをやってみる	動きを選んだり、工夫したり、友達のよい動きを取り入れたりする			
学習内容・活動	○学習の流れ ○共通のめあての確認 ○準備運動 5分 ○体のバランスをとる運動・体を移動する運動 ○基本的な動きを組み合わせる運動 (じゃんけんすごろく、ラインでハイタッチ、Sケンなどを選択して行う。) 8分				
	○やってみる ※もとの動き(例示の動き)に取り組む 5分 (いろいろな跳び方) (移動しながら跳ぶ動き)				
	○よい動きを引き出す時間 ※用具操作のこつを押さえている動きを共有する				
	○自分の取り組みたい動きに取り組む ※めあてをもって取り組む 20分 ・いろいろなチャレンジコーナー ・なわをその場で跳ぶ ・移動しながら跳ぶ ・いろいろな工夫して跳ぶ				
		・コーナーを選んでめあてをもって取り組む 例) 1人チャレンジ 友達とチャレンジ <u>シンクロ</u>		・跳び方を変えて ・移動の仕方を変えて	・「せーの」で一緒に進む ・なわ1本を2人で ・三角形になって ・方向を変えて
	○よい動きを引き出す時間 ※活動の途中で工夫したよい動きを共有する) ※数回行う				
	○もう一度取り組む				
	○後片付け ○整理運動 2分				
	○振り返る 5分				
	(思考・判断) 評価規準	○運動の行い方を工夫している。 ○運動の行い方を知っている。 ○めあてをもって運動し、動きのこつを見付けている。 ○教師や友達のアドバイスを参考にして、動きを工夫している。 ○友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせ方を選んだりしている。			
(思考・判断) 促す手立て	○自ら課題解決するための場の工夫 ○教師の言葉掛け ○よい動きを引き出す時間の設定				

5 「思考・判断」の指導内容に関する具体的な学習活動の例

学習環境の工夫

教師の言葉掛け

よい動きを共有する時間の設定

学習環境の工夫

単元設定
夢中になって運動させるために、ストーリー性のある単元を設定する
「三小☆オリンピック!」
～目指せ動きの金メダル～

用具
いろいろな感覚を味わわせるために、様々な用具を用意する

場
多様な動きを経験させるために、魅力ある場を設定する
「じゃんけんすごろく」



掲示物
思考・判断を耕すために、前時のよい動きを掲示する
「きらきらメダル」



○やってみる ※もとの動き（例示の動き）に取り組む

※吹き出しは教師の言葉掛け

よい動きを共有する時間の設定①

※こつを押さえている動きを紹介する


【できる】
どうやったらうまくできたの？

【友達の動きを観る】
〇〇さんの動きを見よう！

<短なわで跳びながら歩く、走る>



【工夫する】
他にどんなことができるかな？



<2人で横並び> <友達と同じリズムで>

○自分の取り組みたい動きに取り組む ※めあてをもって取り組む

十分に運動する時間の確保
試行錯誤して動きを身に付けさせるための時間を十分確保する。

よい動きを共有する時間の設定②

※工夫した動きを紹介する

【できる】
どうやったら二人でうまくできたの？

【友達の動きを観る】
〇〇さんにどうやったらできるか聞いてみよう！

<2人でシンクロ>



【工夫する】
他にどんなことができるかな？



<3人で同じリズムで>

○もう一度取り組む
○振り返る

6 実践事例 第4学年「多様な動きをつくる運動」(13/18)

(1) ねらい

【思考・判断】

- ・運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせ方を選んだりすることができる。

(2) 展開

学習内容・活動	指導のポイント	評価(観点・方法)
<p>1 学習の流れや共通のめあてを確認する。</p> <p>2 準備運動をする。</p>	<p>○前時の児童のよかった姿を3観点で紹介する。</p> <p>○心と体をスイッチオンできるように勢いよく運動をスタートさせる。</p>	<p>「きらきらメダル。今日は、友達のよい動きを見付けて上手な友達のまねをしよう！」</p> 
<p>3 体のバランスをとる運動・体を移動する運動に取り組む。</p> <p>基本的な動きを組み合わせる運動に取り組む。</p> <p>○じゃんけんすごろく ・フリー(スキップ、ギャロップ等) ・踏み切りジャンプ・マットジャンプ ・平均台・ラダーステップ</p>	<p>○音楽を取り入れ、楽しく運動できるようにする。</p> <p>○いつでもどこでもだれとでも仲よく安全に運動できるように言葉掛けをする。</p> 	
<p>4 基本的な動きを組み合わせる運動に取り組む。</p>	<p>○周りや場、用具の安全に気を付けて運動しよう言葉掛けをする。</p>	<p>☆運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせ方を選んだりすることができる。</p> <p>【思考・判断】 (観察、発言、学習カード)</p>
<p>動きを工夫してできる動きを増やそう！ 上手な友達を見付けてまねしよう！</p>		
<p>○やってみる ○めあてをもって取り組む ○よい動きを共有する ○もう一度やってみる</p>	<p>○十分運動に取り組む時間を確保する。 ○場(コーナー)を用意する。 ○動きを工夫している児童、友達のよい動きをまねしている児童を紹介し、全体に価値付ける。</p>	
 <p>せーの。リズムを合わせよう。</p>  <p>手首で回すといいよ。</p>  <p>つま先で跳ぶといいね。</p>  <p>どうやったらできたの？</p>	<p>○一人一人の児童に言葉掛けをして回る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>努力を要する状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よい動きを自分の運動に取り入れられない。(思) ○連続でなわを回せない。なわを跳べない。(運) <p>→</p> <p>おおむね満足できる姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れている。(思) ○なわで跳びながら歩いたり走ったりすることができる。(運) <p>「○○さんはこんな動きをしていたよ。まねをしてみよう。」(思) 「なわを片手に持って手首で回してみよう。」(運) 「先生と一緒に手をつないで跳んでみよう。」(運)</p> </div>	
<p>5 後片付け・整理運動をする。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<p>○使った部位をほぐすように言葉掛けをする。</p> <p>○学習カードのよい記述を見付け、全体に紹介する。</p>	

7 研究に携わった人

岩田 純一	菊地 由記	高木 孝輔	森田 慎	井口 幸恵	石原 厚志	今泉 悠乃	浦野 めぐ美
遠藤 健太郎	大野 大輔	長田 恵子	上島 真一	工藤 拓	小井土 円香	清水 伸江	武田 千恵子
田邨 佳宏	田部 崇	富岡 将人	中本 隼介	永山 恵子	檜島 美果	樋川 達郎	平林 和也
堀本 太郎	松尾 佑奈	三上 祐典	箕浦 秀一	村野 佳顕	諸星 琢也		